編集部ピックアップ！

子ども見守り用GPS

特徴から選んだ3つの端末を紹介します。

子どもが1人で出歩くようになった時に心強いのが子ども見守り用GPS。キーホルダーのように取り付けたり、ランドセルの中に入れておくことで、パパママのスマホから子どもの位置情報を把握することができます。

①SayuU（サユー） TOYOTA

Coupon クーポン

自動車メーカーならではの交通安全を重視した端末。子どもが横断歩道で左右確認をしたか、走っていないかを検知し保護者に通知する機能があります。履歴に残るので帰宅後に「左右確認できたね」「ここは気をつけようね」など親子の会話のきっかけも。腕時計型のバンドもあり肌身離さず持つことも可能。なんと簡単操作で通話やチャットもできます。

詳しくはこちら↓

②みてねみまもりGPSトーク MIXI

もしもの時に家族に知らせる「お知らせボタン」が使えるプランと、「今から帰るね」「気を付けてね」などボイスメッセージのやりとりができるプランを選ぶことができます。3月に発売された京急線対応モデル（MT05）は京急線全駅*の改札通過通知サービスを搭載したモデル。子どもが改札を通過すると保護者のスマートフォンに通知が届きます。 * 泉岳寺駅を除く72駅

詳しくはこちら↓

③あんしんウォッチャーLE KDDI

GPSに加えて無線LAN、au携帯基地局の位置情報も活用しているため位置情報の精度が高いのが特徴。学校や習い事などよく行くスポットを事前に登録しておけば、出入りした際にスマホに通知する機能も。1契約で2台まで同時に見守り可能。アプリでは二人同時に表示されるので切り替えの手間がないのが便利です。オリコン顧客満足度®調査「子ども見守りGPS」において2年連続総合第1位を受賞しています。

サイズイメージ

詳しくはこちら↓

通学路安全マップの作成

マップ作りを通して地域の防犯力を見直そう！

PTASの安全マップの記事はこちら

PTAをたすける PTAS ピータス

通学路の安全を守るために、オリジナルの安全マップを作成しているPTAがあります。マップに載せる情報を確認しながら作成することが、地域のことを知る機会にもなっています。マップ作りというとハードルが高いイメージがありますが、PTAの活動を助ける支援サービスPTA' S（ピータス）には通学路安全マップを作るデザイナーさんも登録しています。このサービスは保育園・幼稚園の保護者会もご利用いただけます。

PTAのクリエイティブ制作を助けてくれる団体の一つ、Sunny graphic designは横浜市中区にあるデザイン会社です。マップの作成ノウハウがあるデザイン会社に相談することで、とても見やすく使い勝手の良いマップを作ることができます。「通学路を確認して欲しい」という意図の伝わるマップを手にすることで、子どもも地域も安全を確認するきっかけにもなります。

地域の皆さまの情報を元に、メールのやりとりだけでわかりやすく見やすいマップを制作いたします。
納品の仕様などもHPよりお気軽にご相談ください。

Sunny graphic design　堀井大輔さん

まちの防犯力を高めるために一人一人ができること

ベイ★キッズ編集部からのメッセージ

今回紙面では「個人で」できることを中心に取り上げました。地域ができることもたくさんあります。地域を意識して防犯対策を行ってみましょう。

地域の人に自分たち親子の顔を知ってもらうことも防犯上も防災上も大切なことです。

ベイ★キッズ編集部が話を聞いた子育て中のある男性は地域で顔見知りを多く作ることが大事と思って、自治会や地域のイベントに親子で参加し自分がどこの誰か知ってもらうために自治会役員も務めているそうです。大変だけど「子どものためなら！」と頑張れるそうです。そのおかげか息子さんは登下校で声をかけてもらっているようだとのこと。

警察庁の「住まいる防犯110番」によると侵入犯罪者の約6割が、「声をかけられたので犯行をあきらめた」と答えているそうです。近所づきあいが活発で、地域コミュニティがしっかりとしているまちは、侵入犯罪に強いといえます。清掃活動、花を植える活動、パトロールなど防犯につながる地域活動はいろいろあります。

各家庭で状況も違うので、地域活動への参加は誰にでもできるわけではないでしょう。でも大丈夫。まずは自分にできることをしましょう。自宅のセキュリティを万全にすること、自宅の周りを荒れた状態にしないことです。「割れ窓理論」といって、建物の窓ガラスを1枚でも割られたままにしておくと、外部からはその建物ひいては地域全体が管理されていないと認識され、地域全体が荒れ、犯罪が多発していくという考え方があります。小さな乱れをそのままにしないという意識を持つことが大事です。まずは自分の身の回りのことをしましょう。そうした個人個人の行動がまちの防犯力につながっていきます。

NEW!

子育て＼あるある 相談室

子育てに悩みはつきもの。実はみんな同じようなことに悩んでる！？
子育て応援サイト「ポピフル」の連載よりピックアップして紹介します。

ベイ★キッズ × 全家研 月刊ポピー

【相談】
なかなか友だちができないようです

入園当初、「今日、誰かとお話したの？」と聞くと、子どもは「誰とも話してない」と困ったような顔で言いました。園には元気に通い、話はよくしてくれます。もともと人に慣れるのに時間がかかるタイプですが、保育参観でも誰とも話をしていません。一人で遊んでいることが多いようです。皆がどんどん友だちになっていく中で取り残されてしまいそうです。

アドバイス

入園したら、お子さんに友だちがたくさんできるといいな、と期待されていたのに、一人でいることが多いようすに心配なのですね。でも、お子さんの方は、元気に登園し、園の話もお母さんにしてくれる、ということですから、まずは、そのことをほめ、園の話をたくさんしてくれてうれしい、と気持ちを伝えてください。

お子さんが困ったような顔で答えるのは、「誰かとお話したの？」という問いに、親の不安やあせりを感じ取ったからかもしれません。親子でゆったり会話することを大切にし、おおらかに「そのうちに気の合う友だちができるよ」とかまえている方がよいでしょう。人との関わりに慎重なお子さんは、年齢が進むにつれ、深い友情に結ばれた友だちに恵まれることも多く見られます。もう少し見守っていきましょう。

担任の先生には、機会を見つけ、人に慣れるのに時間がかかることを伝え、気にかけてもらうようにしておきましょう。おうちで、友だちの話が出てきたときには、にこにこと関心をもって耳を傾けてあげてくださいね。 **回答：全家研ポピー教育対話主事**

その他、よくあるお悩みへの回答は「ポピフルあるある相談室」で検索！

ポピフル ポピー子育て応援サイト POPYful